

2018年度第8回北陸公法判例研究会開催のお知らせ

初春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、下記の通り今年度第8回研究会を開催いたします。今回は、篠原永明先生（甲南大学）が代表を務められる第4回「考慮事項研究会」との共同開催となります。前日の第7回研究会に引き続き、多数のご参加をお待ちいたしております。

なお、研究会終了後、懇親会を開催いたします。ご出席いただける方は、3月1日（金）までに山崎にご連絡くださるようお願いいたします。

記

日時： 2019年3月9日（土）13時30分より

会場： 石川四高記念文化交流館（金沢市広坂2-2-5）多目的利用室2



1. 鶴澤 剛（金沢大学）

〔研究報告〕「行政裁量論と判断過程審査——要件事実に見地を加味しつつ」

〈参考文献〉

- ①橋本博之「行政裁量と判断過程統制」同『行政判例と仕組み解釈』（弘文堂、2009年）145頁。
- ②米田雅宏「行政訴訟における要件事実論・覚書」伊藤滋夫編『環境法の要件事実』（日本評論社、2009年）197頁。
- ③米田雅宏「取消訴訟における証明責任——訴訟の審理過程から」法学教室 360号（2010年）21頁。
- ④巽智彦「事実認定論から見た行政裁量論——裁量審査の構造に関する覚え書き」成蹊法学 87号（2017年）97頁。

2. 山本 真敬（下関市立大学）

〔研究報告〕「投票価値較差訴訟の諸論点」（仮題）

〈参考文献〉

- 毛利透「投票価値較差訴訟の現状と課題」判例時報 2354号（2018年）134頁以下。